

令和7年度		学校経営方針	中津市立豊田小学校
《学校経営の基本方針》	○憲法、教育基本法、関係法令、学習指導要領、県教育委員会・中津教育事務所・中津市教育委員会の方針に基づく。		
	○児童や保護者、地域の方々の願いや課題を共有し、学校・保護者・地域が協働して、平和を願い、ふるさと豊田を愛する豊田っ子を育てると共に、「チーム豊田」として『新しい時代に必要な資質・能力を育む学校教育』の確立をめざす。		
学校の教育目標			
～ことばを大事にし、いつでもどこでもだれとでも高め合う豊田っ子を育てよう！～			
キーワード「Welcome to 豊田」「凡事徹底」			

めざす子ども像		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
(知) 学習規律を身につけ、基礎的な学習内容が理解できる。	(知) 自分の考えを話したり、書いたりして相手に伝えることができる。	(知) 既習事項を日常生活に生かし、協力して行動できる。
(徳) 生活習慣を身につけ、きまりやマナーを守って行動できる。	(徳) 言葉づかいに気をつけ、思いやりを持って行動できる。	(徳) 共感的に周りの人と関わり合い、進んで行動できる。
(体) 基礎的な運動技能を身につけ、安心・安全な生活ができる。	(体) 自ら進んで考え、友だちと共により良く行動できる。	(体) 自他の健康に気をつけ、目標に向かって粘り強く頑張ることができる。

めざす学校像		
(知) 確かな学力の向上	(徳) 豊かな心の充実	(体) 健やかな体の育成
確かな学力の定着に向けて、新大分スタンダードに基づく授業改善に取り組む学校	自尊感情を高め、自分を大切にし他人を思いやる心の育成に取り組む学校	基本的生活習慣を確立し、運動を楽しむ意識の醸成に取り組む学校

めざす教職員像		
ネットワーク	フットワーク	チームワーク
情報共有を密に。こまめに報・連・相。	すぐに動く。自ら動く。ともに動く。	一声かける。一手間かける。一息つける。
M (身の丈)	S (整理整頓)	G (減軽)
◆本校の実情に合った教育活動に転換 ・校務分掌や学校行事等の見直し ・外部人材(地域、専門家)の活用	◆誰もが働きやすいように毎日、整理整頓 ・不使用の教具や過年度の掲示物等の整理 ・机上、教室、廊下、校舎回り等の整頓	◆あらゆる業務に係る負担を減軽 ・「行う」前に「要否、可否、適否」を自問 ・「そのまま」ではなく「代替物」を探索

育成を目指す資質・能力：コミュニケーション能力

重点目標		
生きて働く知識・技能の習得 着実に基礎・基本を身につける 子どもの育成	思考力・判断力・表現力の育成 相手や状況を考えて思いを伝え合う 子どもの育成	学びに向かう力・人間性の涵養 誰とでも共に学び共に行動できる 子どもの育成
取組 (◆重点的取組) 「凡事徹底」		
○「新大分スタンダード」に基づく課題解決型授業の定着。 ○読み・書き・計算の繰り返しの徹底。 ○全ての教育活動で「目的意識・相手意識を意識した聴く・話す力の育成」。 ○個のスキルアップを図る個別指導の徹底。 ○継続しての指導、家庭との連携により、家庭学習の習慣を身につけ、家庭学習に自ら取り組む子の育成。 ◆主体的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化 ・毎時間「振り返り」を行う ◆「とよだのきまり」を守る意識の育成 ・全教職員で全児童に声かけを行う ◆学校と連携した家庭学習習慣の定着 ・家庭でノースクリーンタイムを実施する	○ルールやマナーを守り、安全に仲よく遊ぶ子どもを育む。 ○相手の立場に立った言葉遣いや行動が取れる、命を大切にする子どもを育む。 ○いじめや差別などを見抜き、人権意識を持って行動する子どもを育む。 ○「人間関係プログラム」を活用したよりよい人間関係作りの取組を行う。 ◆協働的な学びを育てる「みんな活躍授業」の日常化 ・毎時間「ぶらぶらタイム」「グループ(ペア)学び」の場を設定する ◆相手を思いやる気持ちの育成 ・「あいさつ」の取組状況を毎月振り返る ◆各教科、生活科、総合的な学習の時間等における地域の方々の学習支援の推進	○「笑顔・あいさつ」がいっぱいの学校を目指した主体的に取り組む児童会活動の推進 ○「上級生・下級生が信頼し合い、協力し合える」活動の場(縦割り班清掃等)を設定する。 ○「生活科・総合的な学習の時間」で、自ら積極的に地域でのコミュニケーションを取ろうとする態度を育むために教科横断的な学習を展開するとともに地域との協働を進める。 ◆生活科・総合的な学習の時間を中心にした協働的な学びの推進 ・毎時間、考えを伝え合う場を設定する ◆自己の取組状況や変容を実感する場の保障 ・無言清掃や人間関係づくりプログラム等の後に取組状況を振り返らせる ◆地域(生活、歴史、文化、課題等)の伝承の推進

地域とともにある学校「Welcome to 豊田」		
○教育活動の協働⇒ゲストティーチャー(生活科、総合的な学習の時間)、大運動会、豊田フェスティバル、親子ふれあい ○地域教育力の活用⇒下校見守り活動、読み聞かせ活動、学童クラブとの連携、豊田コミュニティセンターとの連携 ○小中連携の推進(9年間を見据えた教育活動)		
○学校・学級便りやHPによる情報発信		
○学校評価の有効利用		